

顧客満足の上と 製品の品質・安全

製品・サービスの品質保証

品質方針

当社は、お客さまが品質保証活動で使用される環境試験器を提供しており、エスペック製品のクオリティがそのままお客さまの製品のクオリティに直結していること、また、その重責を担っていることに、私たちの存在意義があると考えています。私たちは「お客さまへ安全、快適、確実に使命を果たす、より確かな製品とサービスの提供を行う」を基本理念として掲げ、グローバルカスタマーの期待に応える高品質製品の実現に向けて取り組んでいます。

品質保証体制

国内外においてEQA (ESPEC Quality Assurance) と呼ばれる独自の品質保証体制を確立し、活動を行っています。また、1993年に国内他社に先駆けて品質マネジメントの国際規格「ISO9001」の審査・登録を行いました。その後2015年のISO改正についても移行を完了して認証継続するとともに、品質保証体制の継続的改善を実施しています。毎年基本方針を掲げて取り組みを推進しており、2020年度は各部門の連携を密にした品質保証活動により、製品とサービスの品質向上に取り組めました。

QMC活動

当社では、生産現場を中心としたQC活動を、日常業務の中から顧客満足の上と付加価値創造の実現を目指す全社員参加型の「小集団活動」へと転換し、QMC (Quality Management Circle) 活動として実施しています。2020年度は、71サークルがさまざまなテーマで改善活動に取り組み、品質改善やコスト削減、業務効率の向上など大変高い成果をあげました。

お客さま満足の上に向けて

ニューノーマル (新しい生活様式) に対応した オンラインの活用による新たな取り組み

● 在宅オンラインサービス

お客さまが自宅に居ながら環境試験を行うことができる「在宅オンラインサービス」を提供しています。当社装置の使用においては、ITを活用した集中管理システムにより、工場などにある環境試験器を自宅から遠隔監視・操作することが可能です。また、受託試験サービスにおいても試験計画の立案から終了までを全てリモートで対応し、テレワークでも出勤時と同様の試験品質でお客さまの開発業務を支援します。

● ITを活用したテクニカルサポートサービス

■ 装置トラブルへのサポート

サービス名	内容
オンラインサポートサービス	装置トラブルを当社に自動で通報し、修復方法をいち早くお知らせ
ネット診断サービス	バックレースデータ (故障時運転データ) から故障状況を診断し、修復方法をお知らせ
遠隔作業支援	スマートグラスを用いて遠隔から現地の修復作業を支援
在宅オンラインサポート	自宅から装置の稼働状況を遠隔監視 トラブル発生時には当社に自動で通報があり、いち早く装置の修復を実施

■ 装置管理のサポート

サービス名	内容
電子カルテ報告書	訪問作業時に電子カルテを作成し、報告書をメール配信
装置履歴管理システム	装置に貼付されたQRコードからメンテナンス履歴をいつでも確認可能
動画報告サービス	文字や写真では伝わりにくい点検結果を動画でわかりやすくご報告
電子工程表 (点検・修理日程の案内)	サービスエンジニアの最短の訪問可能日をメールでいち早くお知らせ

※ P.14のESPEC NEWSもご覧ください。

● 二次電池に特化したサイト「Solution Expo」を開設

2021年2月、二次電池に特化した特別サイトとして、オンライン二次電池展「Solution Expo」を開設しました。二次電池の安全性試験や充放電試験向け製品の特長や対応試験規格などについてわかりやすくご紹介しています。



● 新型コロナワクチン コールドチェーンソリューション 特設サイトを開設

2021年6月、新型コロナワクチンの安心安全な移送・保管に貢献する製品やサービス、自治体・医療機関でのご利用事例などについてご紹介した特設サイトを新たに開設しました。



● JASIS2020(幕張メッセ) /

JASIS WebExpo® 2020-2021(オンライン)に出展

分析機器、科学機器メーカーが一堂に会する最先端科学・分析システム&ソリューション展「JASIS2020」とウェブ展示会「JASIS WebExpo®」に出展しました。ウェブ展示会では、テレワークでも環境試験器を遠隔監視・操作して環境試験を行うことができるネットワーク商品などをご紹介しました。



JASIS WebExpo®
(2020年9月~2021年3月)

● エスペック信頼性セミナー2020(オンライン)

信頼性試験における有益な情報をお客さまに提供する活動として、信頼性セミナーを開催しています。

2020年度はオンラインで開催し、155名のお客さまにご参加いただきました。

安心・安全につながる

アフターサービス体制「4つの約束」

1. 迅速な対応

24時間365日フルタイムでテクニカルサポート

2. 予防保全メニュー

装置を長く安心してお使いいただくために豊富な予防保全メニューをご用意

3. 長期のメンテナンス体制

メンテナンス部品の保有期間は最長15年

4. 安全対策のご提案

地震等の発生時に被害を最小限にする周辺機器をご提案

アフターサービス認定制度

高度な専門技術力を持つサービスエンジニアの育成に向け、世界共通の評価基準に基づいたアフターサービス認定制度を導入しています。エスペックのサービスエンジニアに限らず、代理店、協力会社のサービスエンジニアも対象に、技能力、技術力、公的資格により3段階の認定資格を付与し、サービスレベルの平準化と向上を図っています。

カスタマーサポートデスク

カスタマーサポートデスクでは、製品購入前から廃棄に至る全てのシーンにおいて、ワンストップで問題を解決できる体制を整え、お客さまのさまざまなお問い合わせにダイレクトにお応えしています。2020年度は約9,000件のお問い合わせに対応しました。

技術者向け情報サイト「Test Navi」

技術者のための信頼性技術の専門情報サイト「Test Navi」を開設しています。環境試験のノウハウや信頼性試験の基礎から最新の試験動向まで、お客さまに役立つ情報をタイムリーにお届けしています。

2021年3月末現在における会員登録者数は、2019年度末から1,361名増加し、20,931名となりました。

多様な人材の活躍推進

ダイバーシティの推進

女性の活躍推進

● 女性社員の育成

意欲や能力のある社員が働きやすく活躍できる組織づくりに力を入れています。2013年度より女性リーダー育成研修を実施し、これまでに30名が受講しています。2020年度は、第4期生の2年間の研修プログラムが修了しました。研修では、外部講師による講義やキャリアについて考える交流会などを行いました。



女性リーダー育成研修

■ 女性役員数／女性管理職比率／女性新卒採用比率(単体)

(年度)	2019	2020	2021
女性役員数	1名	1名	2名
女性管理職比率	4.5%	4.7%	4.7%
女性新卒採用比率	29.2%	40.7%	25.0%

※ 女性役員数は2021年6月23日現在、執行役員を含む
 ※ 女性管理職比率および女性新卒採用比率は2021年4月1日現在

■ 女性管理職比率 目標(2025年度): 10%以上

● 育児中も働きやすい職場環境づくり

正社員だけでなく契約社員やパートタイマーにも育児休業や短時間勤務制度の活用を推進しており、短時間勤務は子どもが小学3年生を修了するまで利用可能です。2020年度には在宅勤務制度の対象範囲の拡大と利用上限時間の撤廃を行うなど、育児中も働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

■ 育児休業・短時間勤務制度の利用状況(単体)

(年度)		2018	2019	2020
育児休業利用開始者数		6名	1名	10名
育児休業取得率	女性	100%	対象者なし	100%
	男性	6%	7%	12.5%
短時間勤務利用開始者数		7名	8名	3名

■ 男性育児休業取得率 目標(2025年度): 7%以上

● 社外からの評価(認証・受賞等)

(年度)	内容
2019	・大阪府男女いきいき事業者表彰「男女いきいき優秀賞」を受賞 ・第4回大阪サクヤヒメ表彰「活躍賞」を受賞(西谷淳子)
2018	・大阪府男女いきいきプラス認証を取得 ・内閣府「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言に賛同(代表取締役社長 石田雅昭)
2016	・女性活躍推進企業「えるぼし」最高位(3段階目)認定 ・第1回大阪サクヤヒメ表彰「活躍賞」を受賞(西谷淳子)
2015	・子育てサポート企業として「くるみん」認定 ・大阪市女性活躍リーディングカンパニー認証を取得



子育てサポート企業「くるみん」



女性活躍推進企業「えるぼし」(3段階目)



大阪府 男女いきいきプラス認証



大阪市女性活躍リーディングカンパニー認証

シニア社員の活躍推進

定年退職者の再雇用制度を導入しています。希望者全員を65歳まで雇用するようしており、2020年度は定年退職者24名のうち22名が再雇用となりました。2021年1月には、シニア社員のさらなる活躍推進を目的として、技術職・技能職社員向けの新会社を設立しました。また、55歳を迎える社員を対象に、再雇用を見据えた今後のキャリアについて考える機会として、キャリアプラン研修を実施しています。

外国籍社員の雇用

外国籍の社員が7名勤務しています(2021年3月末現在)。また、2021年4月1日入社外国人定期採用者は3名で、外国人採用比率は12.5%です。今後も外国籍社員の採用に積極的に取り組んでいきます。

障がい者の雇用

障がいのある方が14名勤務しています(2021年3月末現在)。障がいのある方を、その能力や適性に応じてできるだけ多く雇用できるように、今後も継続して職場環境の改善や職務の見直しなどに取り組めます。

快適な職場環境づくり

社員の健康と安全の確保

● 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取り組み

社員の安全の確保と事業継続に向けて、感染防止策を以下のとおり定め、取り組んでいます。また、ワクチン接種を希望する社員が安心して接種できるよう、平日に接種する場合は有給休暇として取り扱うほか、副反応で休む場合についても特別休暇として取り扱います。(2021年8月4日現在)

なお、最新情報は、随時当社ホームページでお知らせしています。

1. 飛沫感染の防止に向けて、3つの密を回避する
(換気の励行、ソーシャルディスタンスの確保など)
2. 接触感染防止に向けて、事業所内をクリーンな環境に保つ
(執務エリアの消毒、入館時の消毒液による手洗い、マスク着用など)
3. 在宅勤務をさらに推進する

● 安全衛生活動

安全衛生委員会を設置し、委員による事業所内の安全パトロールを行うなど、労働災害の撲滅、労働環境の改善に努めています。また、交通事故防止の対策として、安全運転適性検査の実施や安全運転講習会による啓発活動に取り組んでいます。2020年度からは国内の全事業所において、屋内での喫煙を禁止しました。

■ 安全衛生活動の実績(単体)

(年度)	2018	2019	2020
労働災害(不慮災害を除く)	0件	1件	0件
健康診断受診率	100%	100%	100%
車、バイク、自転車による人身事故	3件	3件	3件
車、バイクによる自責事故	23件	12件	19件

メンタルヘルスケアの推進

心の健康問題への対策として、社員とその家族を対象としたメンタルヘルスケア制度を導入しています。毎月自己の状況を確認できるストレス診断の実施や、電話やウェブ、面接による相談窓口の設置などを行っています。また、毎年、全社員で一斉にストレスチェックを実施しています。

柔軟な働き方に向けて

単月の時間外労働時間が80時間を超える社員に対して医師による面接指導を義務付けています。また、家庭と仕事のバランスを考慮し、スーパーフレックスタイム制度や在宅勤務制度、有給休暇計画取得制度、介護休業制度などを導入しているほか、一斉退社日(ノー残業デー)の設定などを行っています。2020年度は従来育児や介護などを行う社員に利用を限定していた在宅勤務制度の対象範囲を自宅で業務が可能な社員全員に拡大しました。

ハラスメントの防止

セクハラやその他の差別待遇、いやがらせ行為などに関する連絡・相談窓口を設置しています。2020年度は6月に新たに「ハラスメント防止規定」を制定しました。また、全社員を対象に、ハラスメント防止eラーニング研修を実施しました。

福利厚生充実

社員が自分に必要なサービスを選択する選択型福利厚生制度「カフェテリアプラン」を導入しています。また、財産形成貯蓄制度では社員の積立額に対して、従業員持株会では会員の拠出金に対して、定率の奨励金を会社より支給しています。さらに、社員が病気やケガで長期間働くことができなくなった場合に一定の収入を補償するGLTD(団体長期障害所得補償保険)制度を導入しています。

人事制度・教育

人事方針

会社の盛衰は「人」で決まります。会社にとって「人」が中心であり「人」重視の経営こそが会社発展の原動力です。「社員が主役の会社でありたい」というのが基本的な考え方です。また、高いモチベーションと品格を兼ね備え、チャレンジ精神に富む良質な人材の開発・育成に取り組むことで「社員能力・活力の最大化」を目指していきます。

多様な人材の活躍推進

コミットメントセッション(目標管理面談)の実施

全社員を対象とした目標管理面談「コミットメントセッション」を定期的の実施しています。

コース選択制度(勤務地限定選択制度)

家庭の事情や価値観・労働観により異動を限定的にすることを望む社員に対し、勤務地限定の選択肢を付与する制度です。2021年3月末現在におけるコース選択状況は「転勤あり(海外含む)」が85%、「勤務地域限定」が15%となりました。

社内公募制度

特定の事業やプロジェクトなどの要員を社内でも募り、社員が自由に応募できる制度です。

グローバル・トレーニー・プログラム(海外研修制度)

国際的に活躍できる中核的人材を育成するため「グローバル・トレーニー・プログラム」を設けています。この制度は、社員を海外グループ会社に一定期間派遣し、現地での実務体験を通してグローバルな考え方や幅広い見識を身に付けるものです。

自己啓発教育支援

社員の自己啓発への支援を行っています。2020年度は、自己啓発教育講座を386名が受講したほか、通信教育245名・推奨資格60名・外国語学習22名がそれぞれ援助金支給制度を利用しました。

エグゼクティブ育成制度

グローバルに活躍する経営幹部の育成を目的としてMBA(経営学修士)の取得など、経営幹部として求められる能力や見識を備えるための支援を行っています。2020年度は、MBA取得コース1名、大学等卒業資格取得コース5名、経営塾通学コース1名が受講しました。

社員表彰の実施

毎年、特許・実用新案の取得や行政・加入団体からの表彰など、精励・功勞の著しい社員をたたえる社員表彰を行っています。

従業員とのコミュニケーション

ラウンドアップ研修会の実施

社員一人ひとりが企業理念の理解を深め、より良い企業文化を形成するため、全社員を対象としたラウンドアップ研修会を実施しています。管理職や一般社員、新入社員といった各層のプログラムに加え、世代を超えた人材を集めたプログラムを毎年実施しています。2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、計16回のプログラムを全てオンラインで開催し、351名が参加しました。



ラウンドアップ研修会

社長メッセージ

社内ホームページに、社長メッセージを定期掲載しています。社長の考えや経営戦略の進捗などについて、動画なども用いて全社員にタイムリーかつダイレクトに伝えています。また、社員との座談会の開催や社員が仕事上の悩みや課題を直接社長に相談できる「明るい仕事相談室」を設置するなど、社長と社員の双方向のコミュニケーションを推進するとともに、価値観の共有を図っています。

社内報「プログレッシブ」の発行

全社員への企業理念THE ESPEC MINDの理解深耕や事業活動などの情報共有を目的とした社内報「プログレッシブ」を定期的に発行しています。



サプライチェーン マネジメント

取引先さまとの より良い関係を目指して

基本方針

当社は取引先さまと良好なパートナーシップを構築し、相互発展できる関係づくりを重視しています。取引においては、関係法令・法規を遵守し、公正・公平な取引関係のもと、グローバルな観点で国内外から必要な資材・サービスなどを適切な品質・価格・納期・環境への配慮などを総合的に判断し調達していきます。

法令の理解・遵守のために

資材調達においては「下請代金支払遅延等防止法（下請代金法）」遵守の徹底を目的として、社内教育をはじめ、さまざまな取り組みを行っています。

2020年度は、資材調達を行う部門への定期的な自主監査を継続実施し、懸案事項への必要な措置を講じることで、違反行為を未然に防ぐ活動に取り組みました。また、購買担当者や取引先さまと関係のある部門責任者、営業責任者を対象とした下請代金法の研修会を年2回開催しています。2020年度は新たに国内関係会社の役員も受講対象に加えるなど、エスペックグループ全体での下請法遵守体制の強化に取り組みました。

事業継続マネジメントの取り組み

自然災害や取引先さまの倒産など不測の事態が生じた場合、お客さまへの影響を最小限に抑えるため、資産である金型の現物確認や、取引先さまの経営状況などの確認を定期的を実施しています。

2020年度は、サプライヤ評価において、QCDESM（Q:品質、C:コスト、D:納期、E:環境、S:サービス、M:経営）だけでなく、コンプライアンスやBCP（事業継続計画）の取り組みについても評価を行いました。主要取引先さま177社に対して評価を実施し、必要に応じて現場訪問を行うことでリスク低減に努めました。また、当社が策定した「災害確認基準」と「初期対応方法」に基づく実践活動を継続して行いました。取引先さまの被災状況や重要部品の状況確認を迅速に行うことで生産現場への影響を最小限に抑えることができました。

「エスペック共栄会」の運営

1981年より取引先さまとの相互信頼の構築、および共存共栄を目的とした「エスペック共栄会」を組織しており、36社の取引先さまに参画いただいています。（2021年3月末現在）

2020年度は、品質向上を目的としたQCサークル活動の活性化に継続して取り組むとともに、会員企業の経営者の方を対象に、SDGsに関するセミナーを実施しました。さらなる企業価値の向上に向けてサステナビリティ経営にシフトする必要性を認識するとともに、持続的な事業発展に向けた取り組みを行いました。また、多大なご協力をいただいた取引先さまに対して、感謝の意を表する「エスペック優秀取引先表彰制度」を導入しています。

2020年度は、社長賞1社・優秀賞3社・特別賞2社の取引先さまを表彰しました。

グリーン調達の実施

資材調達先に対するグリーン調達においては、ISO14001認証取得をはじめとした環境マネジメントシステムの構築を条件に、環境負荷低減や環境関連法の遵守など環境管理活動を評価する指針として「エスペックグリーン調達基準書」を制定しています。

2020年度は、グリーン調達認定取引先の拡大を目的に、取引先さまへの現場指導に継続して取り組みました。その結果、登録部品点数の96%を占める計121社の取引先さまが認定基準を満たすことができました。

「市況説明会」の開催

2020年7月に主要取引先さま74社をお招きし「市況説明会」を開催しました。経済動向や受注状況など、取引先さまの生産活動に必要な情報を事前に提供して共有することで、安定調達の実施に取り組みました。

適切な情報開示 コミュニケーション

株主・投資家さまとの コミュニケーション

情報開示の方針・体制

会社法、金融商品取引法等関係法令、証券取引所の定める適時開示規則などに従い、情報開示を行っています。また、同規則に該当しない情報についても、私たちが理解していただくうえで役立つ情報は、積極的かつ公平に開示していきます。社内体制としては、開示情報を審議する機関として、情報開示委員会を設置しています。なお、IRポリシーを策定し当社ホームページに掲載しています。

開かれた株主総会に向けて

● 株主総会日程と招集通知

株主総会を株主さまと直接対話のできる貴重な機会であると考え、より多くの株主さまにご参加いただけるよう集中日を避けて開催しています。

招集通知については早期発送に努めており、法定期日の1週間前に送付しています。また、法定期日の2週間前には東京証券取引所および当社ホームページに掲載し、株主総会情報の早期提供を図っています。なお、同日に英訳版(要約)も掲載しており英文開示の充実にも努めています。

● 議決権行使

議決権行使においては、郵送やインターネットでの行使も可能にしており、スマートフォンでQRコードを読み取ることで容易に行使できる「スマート行使」も利用できます。また「議決権電子行使プラットフォーム」を新たに導入し機関投資家の行使環境の改善にも取り組んでいます。

● 第68回定時株主総会

第68回定時株主総会においては、新型コロナウイルス感染予防のため議決権の事前行使を呼びかけるとともに、開催時間の短縮や座席間隔の確保などの対策を講じ、45名の株主さまにご出席いただきました。



第68回定時株主総会

機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会

機関投資家・証券アナリストの方を対象とした決算説明会を年に2回実施しています。説明会には社長や役員が出席し、業績や戦略などについて説明しています。2020年度は、新型コロナウイルス感染予防のため会場での開催は中止し、社長による決算説明動画・資料を当社ホームページに掲載しました。

個別ミーティングは社長や役員が出席し、東京・大阪を中心に随時実施しています。2020年度はウェブ会議または電話会議を活用し、約90回実施しました。



2020年度 決算説明動画

環境省「環境情報開示基盤整備事業」へ参加

企業と投資家などが環境情報を中心とした実質的な対話を行う環境省の「環境情報開示基盤整備事業～ESG対話プラットフォーム～」に参加しています。コーポレートガバナンス報告書やサステナビリティレポートなど、投資家さまへのESG情報の開示を行っています。

IRツールの充実

● 株主通信

年2回発行している株主通信では、株主さまにエスプレックについてよりご理解を深めていただくため、当社のさまざまな取り組みを紹介しています。2020年度は特集記事として、2021年3月にオープンした世界初の「全天候型試験ラボ」を紹介しました。

※P.15、16の特集記事もご覧ください。

● IR資料

決算説明資料は半期ごとに作成していましたが、2020年度より四半期ごとに作成しホームページに掲載しています。参考資料として事業概要やサステナビリティの取り組みも紹介、英訳版も作成・掲載しています。

● IRサイト(PC版・スマホ版)

IRサイトでは、経営方針、財務・業績データ、各種IRイベント資料を掲載するなど投資家のみなさまに有用な情報の発信に努めており、2020年度は主に業績情報の充実を図りました。また、IRサイトやニュースの更新情報をメールでお知らせする取り組みも行っています。

IRサイトに対する社外評価

当社のIRサイトは、日興アイ・アール社主催の「2020年度全上場企業ホームページ充実度ランキング調査」において、優秀サイト(総合表彰)に認定されました。また、モーニングスター社主催の「Gomez IRサイトランキング2020」において銅賞を受賞しました。



経営へのフィードバック

株主・投資家さまアンケート

会社説明会などにおいて投資家さまからご意見をいただいています。また、株主通信の送付時にアンケートを実施し、株主さまからいただいたご意見などを中間株主通信で報告しています。2020年度は2,004名の株主さまからご回答をいただきました。

市場評価のフィードバック

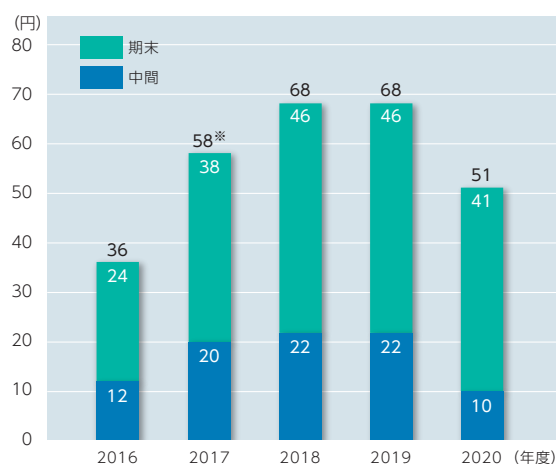
IRイベントや株主通信のアンケート結果、および個別ミーティングで伺ったご意見などをレポートにまとめ、取締役会で随時報告を行っています。市場の評価を社内にフィードバックすることで、課題を浮き彫りにし、今後のIR活動の改善に努めています。

株主さまへの還元

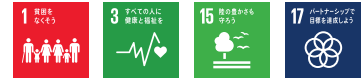
利益配分に関する基本方針

当社は、株主のみなさまへの利益還元を経営の重要課題の一つと認識するとともに、継続性と配当性向を勘案して配当を決定することを基本方針としています。2020年度の年間配当金は1株当たり51円とさせていただきます(配当性向59%)。

■ 1株当たり配当金



※ 記念配当 中間1円、期末1円含む



社会貢献

社会とのコミュニケーション

新型コロナワクチン用の保冷庫を無償貸し出し

新型コロナワクチンの接種が本格化する中、ワクチンの適切な温度管理と円滑な接種を支援するため、2021年4月より既存の試験器をワクチン保管用に改良した「超低温小型保冷庫」と、小口移送に適した「定温輸送保冷庫」(2021年4月発売)計40台を地方自治体等に無償貸し出ししました。自治体での集団接種会場や医療機関での個別接種会場などでご使用いただいています。

※P.13のESPEC NEWSもご覧ください。

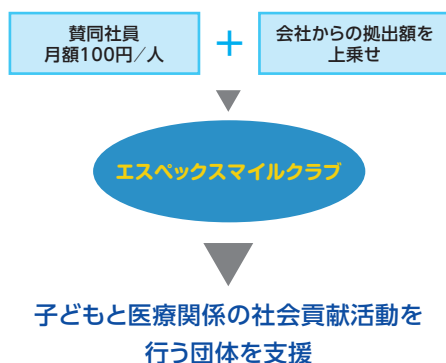
社員参加型の寄付制度「エスペックスマイルクラブ」

2020年12月、社員と会社が一体となってSDGsの達成に貢献するため、マッチングギフト制度※「エスペックスマイルクラブ」を設置しました。取り組みに賛同する社員が毎月100円を積み立て、これに会社が寄付金額を上乗せし、子供や医療関係の社会課題の解決に取り組む団体に寄付します。



※ 企業が社会貢献を目的に寄付や義援金を募る際、寄せられた金額に対して企業が一定額、または一定比率の金額を上乗せし寄付金を拠出する仕組み

■ エスペックスマイルクラブの仕組み



新郷瀬川 半自然草地再生 植栽会の開催

2020年11月、エスペックミックが「新郷瀬川 半自然草地再生 植栽会」を地元の市民活動団体「ふるさとの自然を愛するスズサイコの会」と共同開催しました。愛知県犬山市を流れる新郷瀬川の土手には、絶滅が危惧されるスズサイコをはじめ、ツリガネニンジン、ワレモコウなどさまざまな在来種が育つ生物多様性豊かな半自然草地が残されています。しかし、近年、洪水対策として実施された河川改修工事によって一部の草地が影響を受けたことから、半自然草地を再生するための植栽会を開催しました。当日は地域の方々約40名が参加し、エスペックミックが新郷瀬川周辺で種子を採取して育てた野草苗7種類約200本を植栽しました。



河川改修後の法面に在来種の野草苗を植栽

京都府「福知山市SDGsパートナー企業」に認定

2021年3月、当社はマザー工場がある京都府福知山市のSDGsパートナー企業に認定されました。

「SDGsパートナー企業登録制度」は、福知山市がSDGs達成に向けた商品・サービスの提供・開発、課題解決活動などに積極的に取り組む企業等をパートナー企業として登録し、その取り組みを広く周知、関係機関との協働・連携することにより地域課題解決の促進を図ることを目的とするものです。

災害義援金の寄付

2020年7月の豪雨で被災された方々の支援と被災地の復興に役立てていただくため、日本赤十字社を通じ、被災地に対して50万円の災害義援金を寄付しました。